第2回 定例会まとめ

部会	報告及び議題	意見交換	今後の方向性
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> * ホームページにおけるサービス情報シートの事業所掲載について * 精神障がいについての勉強会について * 新規に設置される事業所へ移行する際の留意点について 	<ul style="list-style-type: none"> * グループにて協議 テーマ「障がいのある人の居住支援における課題と支援体制について」 主な意見	
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> * 利用しているサービス事業所の変更に伴う留意点について ・就労の新規事業所が設置されるに伴い、移行支援からB型へ変更する場合があります ・趣旨からも丁寧な説明が必要 ・担当者会議を開催して情報交換を密に行い会議録を作成 * サービス利用計画を作成する中での課題について * 直B問題についての概要と進め方について確認 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・入居したい時の相談先がわからない。居住関係の相談先を明確にしながら広報が必要 ・大家さんが入居を拒否する理由を詳細に聞く必要がある。 ・家族、地域との関係性の構築 ・相手や地域に、自分のことを知ってもらうことで住みやすくなるということを理解してもらう ・差別解消法もできて地域全体に啓発することが重要(地域全体に理解してもらうこと) ・保証人、成年後見、その他の制度の有効活用 ・グループホームの不足も心配されるが、グループホームを作るメリットが感じられない ・システムよりも心のバリアフリーが大切 	
精神	<ul style="list-style-type: none"> * 精神障がいのある方への虐待事例の課題 緊急避難する場合、精神科病院が考えられるが、精神保健福祉法上では任意入院になる。入院形態を医療保護へ変更すると、虐待認定で保護している状況でありながら家族の同意が必要になる。本人の居場所はもちろん、同意を取らなければ入院継続はできず難しい判断となる。現在の法律上では、DV被害者の保護ケースも同様に家族の同意が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患をもつ方の避難先の問題 ・虐待対応のスキームの理解(休日や夜間に統一した対応が難しい) 	【支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報をまとめて提供できる機関が必要 ・グループホームの活用、整備 ・退院後の家探しの際、大家さんにも担当者会議に参加してもらい情報共有を図った事例あり ・何かあったときのサポートさ体制がキチンとしていたら受け入れてもらえるのでは？ ・生活サポートシートの活用が有効 ・プロジェクトチームを作って協議する(医療関係、不動産、大家さん、相談支援専門員、行政、社協) ・市民の理解を深めるために周知活動を継続する 	継続した検討を行い、「生活サポートシート」について協議する。 ⇒協議会として居住支援に関わる可能性のある専門部会でシートの内容について検討を行う
子ども	<ul style="list-style-type: none"> * 児童発達支援管理責任者の情報交換会を開催 ・学校との連携について ・職員育成について ・思春期の課題 ・保護者との連携 		
サービス管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> * 成年後見制度の研修会開催について * 個別支援計画作成に伴う研修会について * 障害特性で着眼点は違うが、それぞれの内容を含む研修を開催したい 		